



愛知県教育委員会飯田教育長様

2023年11月9日

請願者 行政を考える住民の会 事務局 宮崎邦彦

連絡先

セクシュアル・ハラスメントの全数調査を業者に委託して行うことを求める請願

請願の経過、理由。

- 1 報道によると、文部科学省が、教員らによる性暴力被害 相談窓口を設置「年内めど」とする文科省通知（資料1）を出した。とある。

体制整備を、児童や生徒に周知するよう求める通知を全国の教育委員会に出したとある。教委や学校には、児童生徒や教員らへの定期調査による把握を義務づけているとある。

窓口の設置・周知していたのは88・1%（59教委）だった。とある。

- 2 相談窓口設置に関しては、設置を含め、設置に当たって、委員会としては、性被害実態を把握する必要があるといえる。

文科省のいう、定期調査による把握とは、性暴力被害に関する、調査を、定期的に行うことを指すと受け止めている。被害等の現状からすると、継続的に実施されることが望まれる。

- 3 実態把握の記録として、神奈川県 2022 年セクシュアル・ハラスメントの

実態把握に関する調査結果がある（資料2）愛知県・名古屋市に関する、実態把握の調査結果は現時点では、不明であるといえる。まずは、実態調査の調査結果が求められるということである。ただし、膨大な仕事量ということでもあり、業者委託による、調査を求めるものである。学校・職員等をお願いするとしても、最小限の、仕事の割り振りが大前提である。

- 4 性被害、全体の実態が、把握されてこそ窓口の体制、対応について準備ができるものであるといえるからである。
- 5 また、実態調査は、児童生徒、職員に対しての教育委員会、学校の、性暴力等防止取り組みの宣言でもあり、実際の被害、にあった場合の素早い対応を、促すものでもあるといえる。
- 6 被害の実態について、報告が上がっていないから、ないとか、教師の性暴力「あるはずない」は改めて（資料3）死角や怒声 違和感を周囲が見逃さない環境に（資料3）教委は、勇気をもって、調査に当たってほしい。

請願事項

- 1 速やかに、性暴力、被害の全数調査（対象、児童、生徒、職員）による、実態調査に取り組むこと。
- 2 全数調査の実態調査においては、業者委託の予算措置を速やかに行うこと
- 3 調査結果については、速やかに公表すること。

- 4 現在、教委の調査等で、把握されている、性被害の調査結果等については、公表すること。

添付資料

資料1 2023年10月21日 朝日新聞

資料2 神奈川県令和4年度 セクシュアル・ハラスメントの調査結果
(調査団体は多く)

資料3 2023年10月16日 朝日新聞

口頭意見陳述希望

※2023年6月1日発行

神奈川県(調査、～) (セクシュアル・ハラスメント)

資料

令和4年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果について

県教育委員会では、県立学校におけるセクシュアル・ハラスメント防止に向けた取組の一環として、県立学校の生徒及び教職員を対象とした令和4年度アンケート調査(第1回・第2回)を実施した。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 県立学校生徒のセクハラに対する理解を深めるとともに、県立学校におけるセクハラの実態を把握し、被害に対応する。
- イ 教職員及び生徒の注意を喚起し、セクハラ防止意識の向上を図るとともに、セクハラ行為の防止を図る。

(2) 調査対象等

ア 調査対象

- ① 県立高等学校(全課程)138校、県立中等教育学校(後期課程)2校、県立特別支援学校(高等部)29校の全ての生徒及び教職員(外部指導者を含む)
- ② 調査対象人数は、生徒約118,400人、教職員等約15,900人。

イ 調査内容

- ① 生徒自身が受けたセクハラ及びその被害に対する具体的な対応等
- ② 他の生徒が被害を受けたことを見たり、被害を受けた生徒から直接相談されたりしたセクハラ及びその被害に対する具体的な対応等
- ③ 学校生活以外でセクハラについて、悩んでいたり、困っていたりすること
- ④ 教職員が生徒に対して行ったセクハラについての、自己申告又は他の教職員による目撃情報(第2回のみ実施)

ウ 調査方法

① 生徒を対象とした調査

全生徒に対し、学校を通じて、アンケート回答用のURL及び二次元バーコードを記載した「調査のお願い」を配付し、各生徒は、自宅等でパソコン、スマートフォンなどから回答

第2回については、上記に加え、学校を通じて「回答用紙」を配付し、県教育委員会に郵送する回答方法も実施(ともに無記名可)

② 教職員等を対象とした調査(第2回のみ実施)

全教職員に対し、「調査用紙」を配付し、自身及び他の教職員のセクハラについて該当のある場合は、記名の上、具体的内容を記載して校長又は校長が指定した者に提出

エ 調査対象期間

第1回 令和4年4月1日から令和4年7月31日まで

第2回 令和4年8月1日から令和5年3月31日まで(7月31日以前の内容も回答可)

教職員については、令和4年4月から令和5年1月調査時点まで

2 調査の結果

生徒を対象とした調査

(1) 回答状況

回答件数 197件 (内訳: 男子56件 女子116件 不明25件)

第1回 140件 (内訳: 男子36件 女子88件 不明16件)

第2回 57件 (内訳: 男子20件 女子28件 不明9件)

(2) 回答の内訳

回答内容	件数	第1回	第2回
自分自身が被害を受けた	72件	(41件)	(31件)
他の生徒が被害を受けた	63件	(46件)	(17件)
学校生活以外でのセクハラについて、悩んでいた、困っていたりすることがある	62件	(53件)	(9件)
計	197件	(140件)	(57件)

(3) 自分自身が被害を受けたという回答のセクハラの実行者

セクハラの実行者	件数	第1回	第2回
先生	37件	(19件)	(18件)
生徒	32件	(21件)	(11件)
部活動の指導者(顧問の先生以外)	3件	(1件)	(2件)
その他	0件	(0件)	(0件)
計	72件	(41件)	(31件)

(4) 自分自身が被害を受けたという回答の被害内容(複数回答可)

被害の内容	件数	第1回	第2回
性的なからかいや冗談など言われた	25件	(11件)	(14件)
必要もないのに体を触られた	24件	(11件)	(13件)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	8件	(6件)	(2件)
着替え中に部屋に入ってきた	8件	(5件)	(3件)
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	7件	(4件)	(3件)
キスや性的な関係を求められた	3件	(1件)	(2件)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	1件	(0件)	(1件)
その他	25件	(16件)	(9件)
計	延べ101件	(延べ54件)	(延べ47件)

(5) 「学校生活以外でのセクハラについて、悩んでいた、困っていたりすることがある」という回答の記述内容の分類

内容	件数	第1回	第2回
痴漢	14件	(14件)	(0件)
過去の被害	7件	(6件)	(1件)
不審者	6件	(5件)	(1件)
アルバイト先での被害	5件	(4件)	(1件)
家族や校外の友人等からの被害	5件	(4件)	(1件)
性別による決めつけ	4件	(4件)	(0件)
ネットによる被害	4件	(3件)	(1件)
セクハラへの不安	3件	(3件)	(0件)
盗撮	3件	(2件)	(1件)
性的なからかい	2件	(2件)	(0件)
その他	9件	(6件)	(3件)
計	62件	(53件)	(9件)

(6) 回答に対する対応等

被害を受けたというすべての回答について、県教育委員会行政課から当該校の校長に対して回答内容を伝え、事実確認等の調査を依頼した。

調査の結果、教員による行為28件(19人)が確認された。その内容については、男性教員が男子生徒に対して「イケメンだね」などと言ったもの、熱中症を「ねーちゅうしよう」と言ったもの、服装指導の際に身体に触れたもの、体育の授業前後の更衣中に教員が授業準備等のために教室に入室したものなどであった。

校長は、調査結果を行政課に報告するとともに、結果を踏まえ、加害教職員が判明した場合は、当該教職員に直接指導するなどし、判明しなかった場合でも、教職員全体や生徒に対する注意喚起等の措置を講じた。

教職員等を対象とした調査

(1) 回答状況

回答件数 8校 13件 (校種内訳: 高等学校 8校)

(2) 回答の内訳

回答内容	件数
他教職員からの目撃情報等	11件
本人の申告	2件

(3) セクハラと言動の内容 (記述内容の分類)

内容	件数
生徒との距離感の近さ (物理的、接し方)	5件
必要のない身体接触	3件
不適切な指導方法 (面談場所、一対一の指導)	2件
性的なからかいや冗談	1件
体型等についての発言	1件
露出の多い服装	1件
計	13件

(4) 回答に対する対応等

すべての回答について、行政課から当該校の校長に事実確認等の調査を依頼した。調査の結果、13件 (9人) の教員による行為が確認された。その内容については、授業中の指導における女子生徒との距離が近いというもの、ウエイトトレーニングの指導で生徒の両膝に触れたもの、ケガをして保健室に来室した生徒の肩に触れたものなどであった。校長は、調査結果を行政課に報告するとともに、当該教職員に対する指導等の措置を講じた。

3 総括

- 生徒を対象とした調査の設問内容を見直して、学校生活におけるセクハラとそうでないものを区別して把握できるようにしたことで、調査の精度が上がったと考えている。また、被害を受けた時間や場所、具体的な被害の内容について、より詳細に把握できるようにしたことで、事案の特定や被害への対応を適切に行うことができた。
- 「自分自身が被害を受けてどうしたか」の回答について、「友だち、家族など身近な人に相談した」「先生や窓口で相談した」「相手に伝えた」等、何らかの対応をした割合の合計は74% (前年度42%) で、「何もしなかった」の割合26% (前年度58%) を上回った。啓発や相談窓口の周知の成果と捉えている。
- 「他の生徒が被害を受けた」の回答の割合が全体の47% (前年度49%) であること、及び、「学校生活以外でのセクハラについて悩んだり困ったりしていること」の回答が62件あることなどからも、生徒のセクハラに対する意識の向上が見て取れる。

4 今後の対応

- 教職員によるセクハラの根絶に向けて、セクハラについての教職員の意識の一層の向上を図る必要があることから、調査の結果を踏まえて、生徒がどのような言動をセクハラと捉えているのかを具体的に示し、注意を促していく。
- 生徒間のセクハラ及び、学校生活以外でのセクハラ被害についての回答もあることから、生徒への啓発、相談窓口の周知を図っていく。
- 性別役割分業意識や性別にかかわる無意識の偏見等についての啓発も含め、生徒・教職員双方に対する人権教育を進めていく。

※ 調査結果の詳細 (教職員の調査結果を除く) と調査資料は別紙のとおり

令和4年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果について

1 セクハラ被害について

学校生活におけるセクハラについて、次の中からあてはまるものを選んでください。

校種	自分自身が被害を受けた			他の生徒が被害を受けた		
	件数	第1回	第2回	件数	第1回	第2回
高等学校	68	(40)	(28)	63	(46)	(17)
中等教育学校	4	(1)	(3)	0	(0)	(0)
特別支援学校	0	(0)	(0)	0	(0)	(0)
計	72	(41)	(31)	63	(46)	(17)

○ 「自分自身が被害を受けた」の回答件数は72件、「他の生徒が被害を受けた」の回答件数は63件であった。

「学校生活以外でのセクハラについて、悩んだり、困ったりしていることがある」の回答件数は62件であった。

2 【質問1】① (自分自身が) 誰から被害を受けたか

【質問1】① あなたは、誰からセクハラを受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。

回答項目	件数	第1回	第2回
ア:先生	37	(19)	(18)
イ:生徒	32	(21)	(11)
ウ:部活動の指導者 (顧問の先生以外)	3	(1)	(2)
エ:その他	0	(0)	(0)
計	72	(41)	(31)

○ 「先生」が37件、「生徒」が32件、「部活動の指導者 (顧問の先生以外)」が3件であった。

3 【質問1】②-1 (自分自身が) どのような被害を受けたか (複数回答可)

【質問1】②-1
セクハラを受けたことについて、どのような被害でしたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答ができます。)

回答項目	件数	第1回	第2回
ア: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	8	(6)	(2)
イ: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた※	1	(0)	(1)
ウ: 性的なからかいや冗談などを言われた	25	(11)	(14)
エ: 必要もないのに体を触られた	24	(11)	(13)
オ: キスや性的な関係を求められた	3	(1)	(2)
カ: 着替え中に部屋に入ってきた※	8	(5)	(3)
キ: 「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	7	(4)	(3)
ク: その他	25	(16)	(9)
計	101	(54)	(47)

※令和4年度から新たに設定した回答項目

○ 「性的なからかいや冗談などを言われた」が最も多く25件、次いで「必要もないのに体を触られた」が24件であった。

4 【質問1】②-2 (自分自身が) 被害を受けてどうしたか (複数回答)

【質問1】②-2
被害を受けて、あなたはどうしましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(イ～オは複数回答ができます。)

回答項目	件数	第1回	第2回
ア: 何もしなかった	25	(15)	(10)
イ: 態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた	23	(12)	(11)
ウ: 友だち、家族など身近な人に相談した	31	(16)	(15)
エ: 学校の先生や相談窓口などに相談した	15	(6)	(9)
オ: その他	4	(4)	(0)
計	98	(53)	(45)

○ 「何もしなかった」は25件であった。「友だち、家族など身近な人に相談した」が31件で最も多く、「態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた」が23件、「学校の先生や相談窓口などに相談した」が15件であった。

5 【質問1】③ (自分自身が) いつ被害を受けたか (複数回答可)

【質問1】③
いつ被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答ができます。)

回答項目	件数	第1回	第2回
ア: 朝のホームルーム前※	9	(6)	(3)
イ: 授業中	18	(10)	(8)
ウ: 休み時間中※	25	(17)	(8)
エ: 昼休み時間中※	11	(7)	(4)
オ: 放課後※	22	(13)	(9)
カ: 部活動中	13	(7)	(6)
キ: その他	14	(8)	(6)
計	112	(68)	(44)

※令和4年度から新たに設定した回答項目

○ 「休み時間中」が最も多く25件、次いで「放課後」が22件、「授業中」が18件、「部活動中」が13件であった。

6 【質問1】④ (自分自身が) どこで被害を受けたか (複数回答可)

【質問1】④
どこで被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。*(複数回答ができます。)

※令和4年度から新たに設定した調査項目

回答項目	件数	第1回	第2回
ア: 普通教室	43	(29)	(14)
イ: 特別教室	5	(3)	(2)
ウ: 教科準備室	2	(0)	(2)
エ: 体育館や武道場	9	(4)	(5)
オ: グラウンドやテニスコートなど	8	(2)	(6)
カ: 廊下や階段	13	(6)	(7)
キ: 更衣室	2	(1)	(1)
ク: 部室	2	(0)	(2)
ケ: その他	15	(8)	(7)
計	99	(53)	(46)

○ 「普通教室」が43件で最も多く、次いで「廊下や階段」が13件、「体育館や武道場」が9件、「グラウンドやテニスコートなど」が8件であった。

7 【質問1】①、②-1、③ (自分自身が被害を受けた)セクハラ行為別の行為者、時間
(複数回答可)

【質問1】
①あなたは、誰からセクハラを受けましたか。
②-1どのような被害でしたか。
③いつ被害を受けましたか。

回答項目	①				② 件数(再掲)	③				
	ア:先生	イ:生徒	ウ:部活動の指導者	エ:その他		ア:朝のHR前	イ:授業中	ウ:休み時間中 (昼休み含む)	エ:部活動中	オ:放課後・他
ア:携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	8	0	0	8	2	2	5	0	7
イ:携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
ウ:性的なからかいや冗談などを言われた	19	6	0	0	25	5	7	12	7	15
エ:必要もないのに体を触られた	8	14	2	0	24	5	5	14	7	13
オ:キスや性的な関係を求められた	0	3	0	0	3	1	1	2	0	3
カ:着替え中に部屋に入ってきた	7	1	0	0	8	1	2	8	1	1
キ:「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	4	3	0	0	7	3	3	5	0	5
ク:その他	18	6	1	0	25	6	12	10	5	9
計	56	42	3	0	101	23	32	56	20	54

8 【質問1】①、②-1、④ (自分自身が被害を受けた)セクハラ行為別の行為者、場所
(複数回答可)

【質問1】
①あなたは、誰からセクハラを受けましたか。
②-1どのような被害でしたか。
④どこで被害を受けましたか。

回答項目	①				② 件数(再掲)	④				
	ア:先生	イ:生徒	ウ:部活動の指導者	エ:その他		ア:普通教室・特別教室	イ:教科準備室	ウ:体育館や武道場	エ:グラウンドやテニスコートなど	オ:廊下や階段その他
ア:携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	8	0	0	8	5	0	2	1	7
イ:携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
ウ:性的なからかいや冗談などを言われた	19	6	0	0	25	17	1	6	5	10
エ:必要もないのに体を触られた	8	14	2	0	24	13	1	5	5	17
オ:キスや性的な関係を求められた	0	3	0	0	3	3	0	1	1	4
カ:着替え中に部屋に入ってきた	7	1	0	0	8	9	0	0	0	2
キ:「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	4	3	0	0	7	6	0	2	1	2
ク:その他	18	6	1	0	25	21	0	3	2	9
計	56	42	3	0	101	74	2	19	15	52

- 「性的なからかいや冗談などと言われた」については、「先生」が19件、「生徒」が6件で、時間は「休み時間中（昼休み時間中も含む）」が12件で最も多く、場所は「普通教室（特別教室も含む）」が17件で最も多かった。
- 「必要もないのに体を触られた」については、「先生」が8件、「生徒」が14件で、時間は「休み時間中（昼休み時間中も含む）」が14件で最も多く、場所は「普通教室」（特別教室も含む）が13件で最も多かった。

9 【質問1】⑤（自分自身が受けたセクハラは）現在どうなっているか（複数回答）

【質問2】⑥
 現在、そのセクハラはどうなっていますか。次の中から当てはまるものを選んでください。（複数回答ができます。）

回答項目	件数	第1回	第2回
ア：被害を受けなくなった	28	(14)	(14)
イ：被害を受け続けている	32	(16)	(16)
ウ：二次被害を受けた	2	(2)	(0)
エ：その他	13	(12)	(1)
計	75	(44)	(31)

- 回答時の状況として、「被害を受け続けている」が32件、「被害を受けなくなった」が28件であった。

被害を受けたというすべての回答について、県教育委員会から当該校の校長に対して回答内容を伝え、事実確認等の調査を行った。事案が特定できた場合は加害者の指導や再発防止の措置等を図り、判明しなかった場合でも、生徒・教職員への注意喚起、相談窓口の周知などの措置を講じている。

参考

学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果概要

		令和4年度			令和3年度			令和2年度	令和元年度
		計	第1回	第2回	計	第1回	第2回		
対象生徒人数		約118,400人			約120,500人			約125,200人	約128,600人
① 自分自身が被害を受けた・他の生徒が被害を受けた生徒数	高等学校 中等教育学校	131人	(86人)	(45人)	189人	(129人)	(60人)	31人	29人
	特別支援学校	4人	(1人)	(3人)	1人	(1人)	(0人)	1人	10人
	不明	0人	(0人)	(0人)	0人	(0人)	(0人)	0人	0人
	計	135人	(87人)	(48人)	190人	(130人)	(60人)	32人	39人
② ①のうち自分自身が被害を受けた生徒数	高等学校 中等教育学校	68人	(40人)	(28人)	96人	(66人)	(30人)	24人	23人
	特別支援学校	4人	(1人)	(3人)	0人	(0人)	(0人)	1人	8人
	不明	0人	(0人)	(0人)	0人	(0人)	(0人)	0人	0人
	計	72人	(41人)	(31人)	96人	(66人)	(30人)	25人	31人
③ ②におけるセクハラの実態別件数	先生	37件	(19件)	(18件)	49件	(29件)	(20件)	13件	21件
	生徒	32件	(21件)	(11件)	28件	(23件)	(5件)	8件	10件
	部活指導者	3件	(1件)	(2件)	1件	(0件)	(1件)	1件	1件
	その他	0件	(0件)	(0件)	18件	(14件)	(4件)	3件	4件
	計	72件	(41件)	(31件)	96件	(66件)	(30件)	25件	36件
④ ②の被害内容の上位項目（複数回答）	先生からの被害		①性的なからかいや冗談などと言われた ②着替え中に部屋に入ってきた	①性的なからかいや冗談などと言われた ②必要もないのに体を触られた		①必要もないのに体を触られた ②性別による決めつけ	①性的なからかいや冗談などと言われた ②必要もないのに体を触られた ②性別による決めつけ	①性的なからかいや冗談などと言われた ②必要もないのに体を触られた	①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などと言われた
	生徒からの被害		①必要もないのに体を触られた ②携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	①必要もないのに体を触られた ②必要もないのに体を触られた		①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などと言われた	①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などと言われた	①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などと言われた	①必要もないのに体を触られた ②性的なからかいや冗談などと言われた